

問1 昔と比べて魚の生産量が減っている中で、養殖漁業がさかんに行われるようになった一番の理由は何ですか。

1. 魚を計画的に育てて、安定してとどけるため
2. 魚を大きく育てるためのえさを海から集めるため
3. 他の漁業よりも働く時間が短くてすむため
4. 海を汚さないため

問2 海の中に「いけす」などの施設を作り、魚や海そうを人の手で管理して育てる漁業のことを何といいますか。

1. 遠洋漁業
2. 養殖漁業
3. 栽培漁業
4. 沖合漁業

問3 生産者が育てた野菜や果物を、スーパーマーケットなどの間に入るお店を通さずに、お客さんに直接売る場所を何といいますか。

1. 直売所
2. 自動販売機
3. デパート
4. コンビニエンスストア

問4 夏の涼しい気候などを利用して、野菜の育つ時期を普通よりも「遅らせて」栽培する方法を何といいますか。

1. 水耕栽培
2. 促成栽培
3. 抑制栽培
4. 露地栽培

問5 漁港でとれたばかりの魚が集められ、買い手が値段を決めるために「せり」を行う場所を何といいますか。

1. 魚市場
2. 冷凍庫
3. 水族館
4. スーパーマーケット

問6 漁業資源を守るために、国や自治体が行っている「とれる魚の量や期間を制限する」取り組みのことを何といいますか。

1. 漁場の拡大
2. 乱獲の促進
3. 漁獲規制
4. 魚の養殖

問7 大都市の近くで、消費者の好みに合わせて新鮮な野菜をたくさん作り、トラックを使って素早く届ける農業を何といいますか。

1. 促成栽培
2. 近郊農業
3. 茶の栽培
4. 抑制栽培

問8 暖流や寒流が近くを流れ、海そうやプランクトンが多く、よい漁場となっている浅い海底のことを何といいますか。

1. 海溝
2. 潮目
3. 砂浜
4. 大陸だな

問9 農家の人々が集まって、農業のやり方を教え合ったり、農作物をまとめて売ったりする組織のことを何といいますか。

1. 農業協同組合
2. 農業試験場
3. 農村自治会
4. 農家連合会

問10 牛やぶた、にわとりなどを飼って、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を何といいますか。

1. 畜産
2. 酪農
3. 水産業
4. 栽培漁業

問11 農業試験場が、地元の農家のために行っている活動として正しいものはどれですか。

1. 地域の気候に適した栽培技術や新しい品種を研究する
2. 農作物の価格を全国一律に決める
3. 農作物を安く買い取ってスーパーへ売る
4. 農家から集めたお金を貯金したり貸し出したりする

問12 畜産のなかでも、特に乳牛を飼育し、牛乳やバターなどを生産する仕事を何といいますか。

1. 促成栽培
2. 酪農
3. 水産業
4. 林業

問13 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。

1. 日本の近くの海に、プランクトンが急に増えたため。
2. 船を動かすための燃料が、世界中で使えなくなったため。
3. 魚を卵から人工的に育てる技術が広まったため。
4. 排他的経済水域の取り決めなどができたため。

問14 潮目について説明したものとして、正しいものはどれですか。

1. 陸地から遠く離れた、水深がとてもし深い海底のこと。
2. 魚を卵からかえして、大きくなるまで人工的に育てる場所。
3. 遠くの海まで行って、数か月かけて魚をとる場所。
4. 暖流と寒流がぶつかり、よい漁場になっているところ。

問15 農家が「産地直送」でお客さんに商品を届けることで、どのような良いことがありますか。

1. 農家が商品を運ぶ必要がなくなる
2. 市場でのせりを行うことで価格が高くなる
3. 中間にかかる費用をへらして新鮮なものを届けられる
4. 市場を通すよりも時間がかかる

問16 遠くの海で行う漁業で、1970年代から生産量が大きく減り続けているものはどれですか。

1. 沿岸漁業
2. 沖合漁業
3. 遠洋漁業
4. 養殖業

問17 促成栽培のやり方や特徴について説明したものとして、正しいものはどれですか。

1. 農業や化学肥料にたよらないで、自然の力だけで野菜をつくる。
2. ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、早い時期に野菜をつくる。
3. 同じ土地で、1年のうちに2種類の異なる作物を順番につくる。
4. すずしい気候を利用して、ほかの地域よりも遅い時期に野菜をつくる。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 1 魚を計画的に育てて、安定してとどけるため	とる漁業だけでは魚の数が足りなくなってしまうこともあるため、施設を利用して自分たちで計画的に育てることで、いつでも安心して魚を食べられるようにするのが養殖漁業の大切な役割です。
問2	答え 2 養殖漁業	海の中にいけすなどの施設を設けて、魚や海そうを計画的に育てる方法を養殖漁業と呼びます。栽培漁業は、卵からかえした稚魚を育ててから海に放す漁業のことなので、施設で最後まで育てる養殖漁業とは区別しましょう。
問3	答え 1 直売所	生産者が自分で育てた農産物を、卸売市場やスーパーマーケットなどの間に入るお店を通さずに、消費者に直接売る場所を「直売所」といいます。収穫したばかりの新鮮なものが手に入ることや、生産者の顔が見える安心感があることが大きな特徴です。
問4	答え 3 抑制栽培	抑制栽培は、標高の高い涼しい地域などを利用して、野菜の収穫時期を普通よりも遅らせる栽培方法です。他の地域で野菜がとれない時期に出荷できるため、高い値段で売ることができます。これに対して、ビニールハウスなどで温めて普通より早く育てる方法は「促成栽培」といいます。
問5	答え 1 魚市場	漁港でとれた魚を全国の食卓へ届けるための大切な中継地点です。魚市場では、多くの買い手が集まって「せり」という方法で魚の値段を決めるため、漁業の流通にとって欠かせない場所となっています。
問6	答え 3 漁獲規制	将来もずっと魚をとることができるように、とりすぎを防ぐためのルールを設けることを漁獲規制といいます。単に魚をとることを禁止するのではなく、量や期間を計画的に管理することで、魚の数が増えるのを助けながら、安定した漁業ができるようにしています。
問7	答え 2 近郊農業	大都市の近くで行われるこの農業は、消費者に新鮮な野菜を届けることが大切です。そのため、トラック輸送などを利用して、大都市の人々が求める野菜を計画的に出荷する工夫がされています。
問8	答え 4 大陸だな	暖流や寒流が近くを流れ、海そうやプランクトンが多くてよい漁場となっている浅い海底を「大陸だな」といいます。
問9	答え 1 農業協同組合	農業協同組合（JA）は、農家同士が協力して農業経営を良くしていくための組織です。共同で肥料などの材料を買ったり、育てた作物を販売したりすることで、個人の農家だけでは難しい活動を支え、地域の農業全体を発展させる役割を担っています。
問10	答え 1 畜産	牛やぶた、にわとりなどの家畜を飼育して、肉や牛乳、卵などを生産する仕事を畜産といいます。
問11	答え 1 地域の気候に適した栽培技術や新しい品種を研究する	農業試験場は、農家が抱える「病害虫を減らしたい」「もっと収穫量を増やしたい」といった悩みを解決するために、科学的な実験や調査を行う場所です。お金の管理や農作物の販売は、主に農業協同組合（JA）が行う役割です。
問12	答え 2 酪農	畜産のうち、特に乳牛を飼って牛乳やバター、チーズなどの乳製品を生産する仕事を酪農といいます。
問13	答え 4 排他的経済水域の取り決めなどができたため。	遠洋漁業は、排他的経済水域の取り決めなどができたことにより、遠くの海で自由に漁ができなくなったため、1970年代から生産量が大きく減り続けています。
問14	答え 4 暖流と寒流がぶつかり、よい漁場になっているところ。	潮目は、あたたかい暖流とつめたい寒流がぶつかり合う場所のことで、たくさんの魚が集まるよい漁場になります。
問15	答え 3 中間にかかる費用をへらして新鮮なものを届けられる	産地直送の大きな特徴は、市場や卸売業者という「中間」のステップを省くことです。これにより、輸送にかかる日数が短くなって新鮮なものが届くだけでなく、中間でかかる余計なコストを抑え、農家にも消費者にも適正な価格で取引ができるようになります。
問16	答え 3 遠洋漁業	遠くの海で行う漁業を「遠洋漁業」といい、排他的経済水域の取り決めなどによって1970年代から生産量が大きく減り続けています。
問17	答え 2 ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、早い時期に野菜をつくる。	促成栽培は、ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、早い時期に野菜をつくって出荷する工夫です。